

① 人口

C0101 人口規模

(1) 人口総数・増加数

本町の人口総数の推移をみると、行政区域全体では、平成12年（2000年）の16,181人から平成22年（2010年）に19,018人まで増加した後、平成27年（2015年）に18,994人と一時減少したが、令和2年（2020年）には19,188人と再び増加している。

非線引き用途地域の人口は増加傾向となっており、令和2年（2020年）の人口は17,693人で、直近5年間で270人増加している。一方、非線引き用途白地の人口は横ばい・微減傾向となっており、令和2年（2020年）の人口は1,484人で、直近5年間で74人減少している。

表 C0101_人口総数・増加数(集計表)

	平成12年	12年～17年の増減		平成17年	17年～22年の増減		平成22年	22年～27年の増減		平成27年	27年～2年の増減		令和2年
	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口
	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人
行政区域	16,181	963	6.0	17,144	1,874	10.9	19,018	▲ 24	▲ 0.1	18,994	194	1.0	19,188
都市計画区域	16,130	1,005	6.2	17,135	1,868	10.9	19,003	▲ 22	▲ 0.1	18,981	196	1.0	19,177
非線引き用途地域	14,662	1,173	8.0	15,835	1,428	9.0	17,263	160	0.9	17,423	270	1.5	17,693
うちD1D区域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非線引き用途白地	1,468	▲ 168	▲ 11.4	1,300	440	33.8	1,740	▲ 182	▲ 10.5	1,558	▲ 74	▲ 4.7	1,484
うちD1D区域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：国勢調査

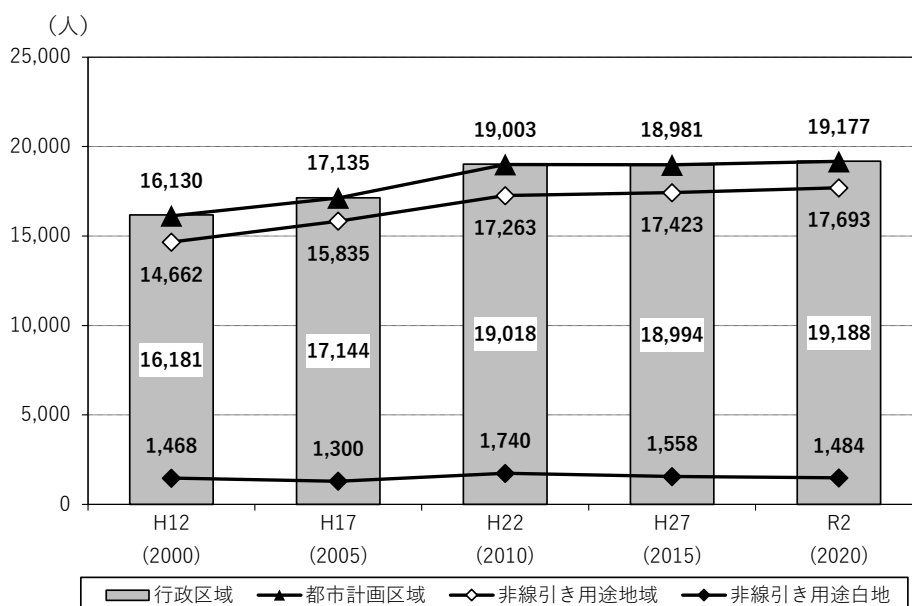


図 人口総数・増減数の推移

資料：国勢調査

(2) 年齢・性別人口

本町の年齢・性別人口の推移をみると、75歳以上の高齢者の増加が顕著であり、平成12年(2000年)の1,329人から令和2年(2020年)には2,989人となっており、20年間で1,660人増加している。

また、年齢3区分別人口の割合をみると、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)の割合が減少し、老年人口(65歳以上)の割合が増加しており、少子高齢化が進行している状況となっている。

表 C0101_年齢・性別人口(集計表)

	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
0～4歳	786	433	353	742	362	380	731	358	373	626	317	309	613	297	316
5～9歳	819	413	406	833	463	370	817	403	414	794	385	409	743	375	368
10～14歳	853	424	429	839	420	419	905	496	409	809	415	394	777	360	417
15～19歳	850	450	400	755	370	385	742	369	373	845	462	383	800	398	402
20～24歳	855	405	450	715	329	386	710	311	399	643	288	355	646	314	332
25～29歳	1,082	557	525	983	469	514	875	423	452	695	328	367	562	289	273
30～34歳	1,159	587	572	1,194	568	626	1,074	526	548	847	414	433	682	298	384
35～39歳	1,070	545	525	1,211	599	612	1,402	652	750	1,042	492	550	895	441	454
40～44歳	1,006	514	492	1,142	571	571	1,478	741	737	1,391	640	751	1,133	560	573
45～49歳	1,156	596	560	1,033	522	511	1,303	663	640	1,442	726	716	1,384	624	760
50～54歳	1,288	680	608	1,236	634	602	1,134	562	572	1,262	628	634	1,383	688	695
55～59歳	1,099	524	575	1,376	711	665	1,385	698	687	1,176	574	602	1,268	620	648
60～64歳	985	471	514	1,243	585	658	1,663	832	831	1,429	701	728	1,238	590	648
65～69歳	946	450	496	1,050	494	556	1,377	659	718	1,715	838	877	1,494	730	764
70～74歳	893	423	470	943	446	497	1,116	517	599	1,341	637	704	1,665	830	835
75歳以上	1,329	460	869	1,849	686	1,163	2,246	881	1,365	2,554	1,017	1,537	2,989	1,228	1,761
不詳	5	2	3	—	0	0	60	54	6	383	245	138	916	536	380
総数	16,181	7,934	8,247	17,144	8,229	8,915	19,018	9,145	9,873	18,994	9,107	9,887	19,188	9,178	10,010

資料：国勢調査

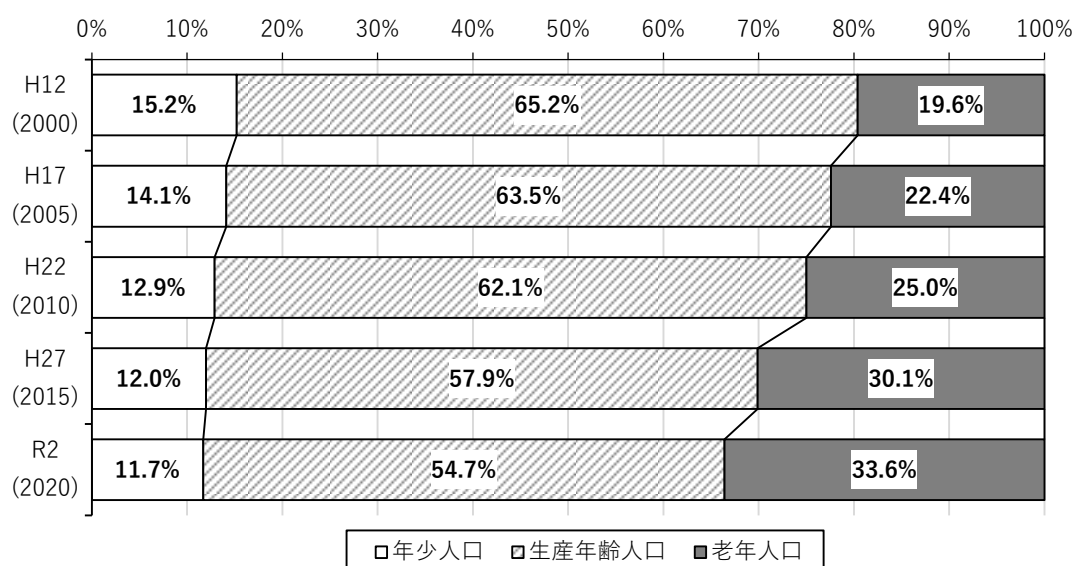
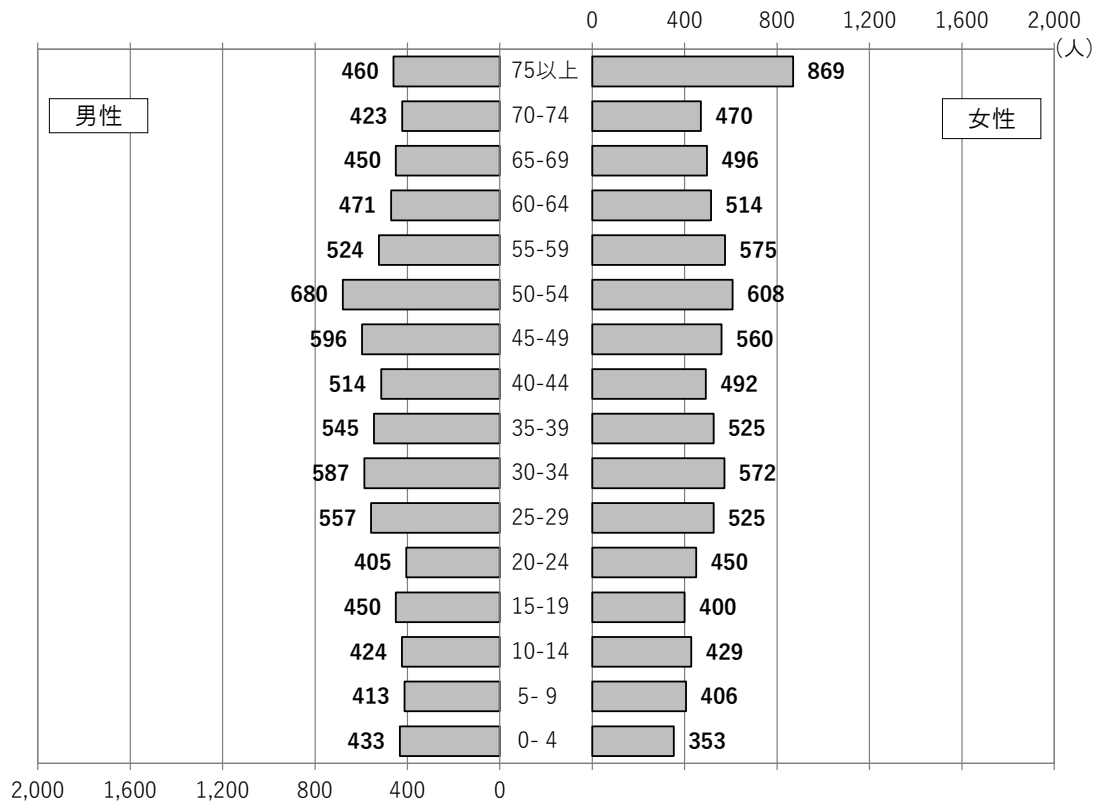


図 年齢3区分別人口の割合

資料：国勢調査

▼ 平成 12 年（2000 年）



▼ 令和 2 年（2020 年）

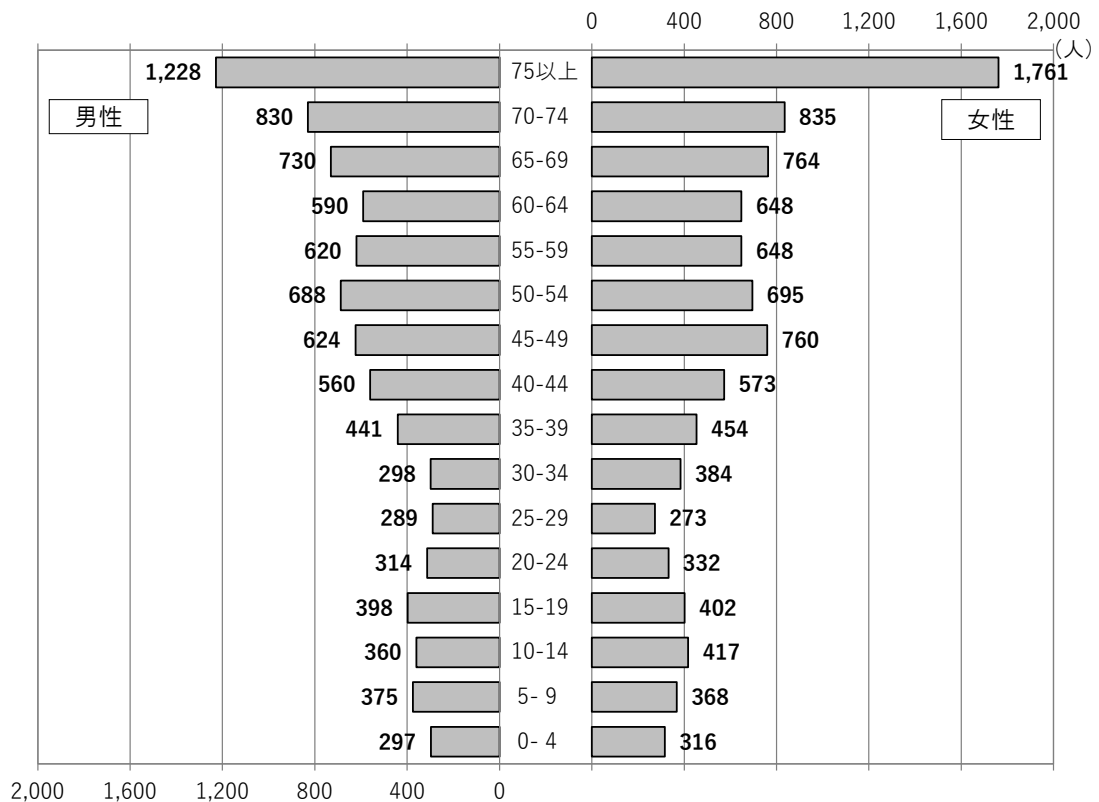


図 年齢 5 歳階級別・性別人口(人口ピラミッド)

資料：国勢調査

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による本町の将来推計人口をみると、令和 7 年（2025 年）の 19,600 人をピークに人口が減少に転じ、令和 32 年（2050 年）には 17,958 人になると推計されている。

年齢 3 区分別にみると、令和 7 年（2025 年）以降、年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は減少傾向、老年人口（65 歳以上）は増加傾向となっており、少子高齢化が進行すると予測されている。

表 C0103_将来人口(集計表)

		令和2年（2020年）			令和7年（2025年）			令和12年（2030年）			令和17年（2035年）			令和22年（2040年）			令和27年（2045年）			令和32年（2050年）		
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総数		19,188	9,178	10,010	19,600	9,368	10,232	19,429	9,241	10,188	19,156	9,089	10,067	18,754	8,893	9,861	18,367	8,701	9,666	17,958	8,495	9,463
年 齢 階 級 別	0-4歳	630	304	326	535	274	261	494	253	241	474	243	231	478	245	233	486	249	237	486	249	237
	5-9歳	763	384	379	916	459	457	667	337	330	635	321	314	619	314	305	625	316	309	625	316	309
	10-14歳	790	365	425	871	429	442	903	429	474	672	322	350	643	308	335	632	304	328	634	304	330
	15-19歳	823	415	408	703	315	388	881	427	454	903	424	479	685	324	361	659	312	347	649	308	341
	20-24歳	767	390	377	654	325	329	651	277	374	782	373	409	776	364	412	628	294	334	612	286	326
	25-29歳	655	347	308	598	351	247	616	350	266	615	311	304	706	384	322	683	368	315	579	312	267
	30-34歳	738	331	407	671	341	330	599	325	274	616	323	293	632	293	339	711	345	366	684	328	356
	35-39歳	933	465	468	885	371	514	732	371	361	657	355	302	675	353	322	698	323	375	787	385	402
	40-44歳	1,177	585	592	1,205	611	594	982	445	537	846	451	395	765	433	332	782	429	353	811	397	414
	45-49歳	1,450	659	791	1,316	636	680	1,219	595	624	1,012	446	566	876	453	423	794	438	356	812	434	378
	50-54歳	1,456	735	721	1,478	681	797	1,302	626	676	1,212	589	623	1,009	442	567	881	453	428	799	437	362
	55-59歳	1,327	664	663	1,547	785	762	1,513	688	825	1,340	636	704	1,250	601	649	1,044	452	592	924	467	457
	60-64歳	1,285	616	669	1,445	697	748	1,653	813	840	1,639	725	914	1,458	674	784	1,361	637	724	1,148	486	662
	65-69歳	1,564	779	785	1,423	691	732	1,568	768	800	1,800	897	903	1,798	813	985	1,609	761	848	1,504	721	783
	70-74歳	1,739	870	869	1,526	748	778	1,415	695	720	1,570	780	790	1,807	912	895	1,818	840	978	1,628	783	845
	75歳以上	3,091	1269	1,822	3,827	1,654	2,173	4,234	1,842	2,392	4,383	1,893	2,490	4,577	1,980	2,597	4,956	2,180	2,776	5,276	2,282	2,994

資料：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和 5(2023)年推計)

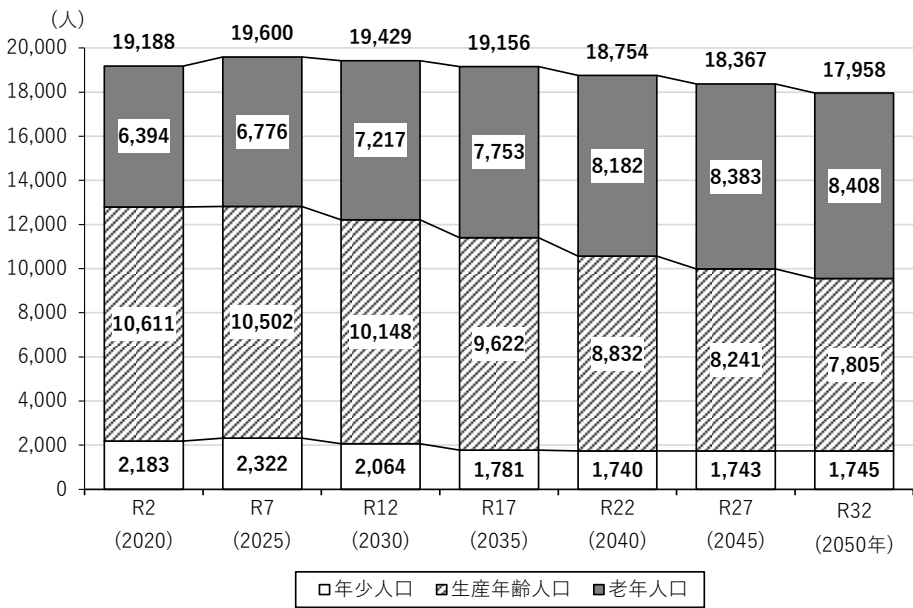


図 年齢 3 区分別将来推計人口

資料：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和 5(2023)年推計)

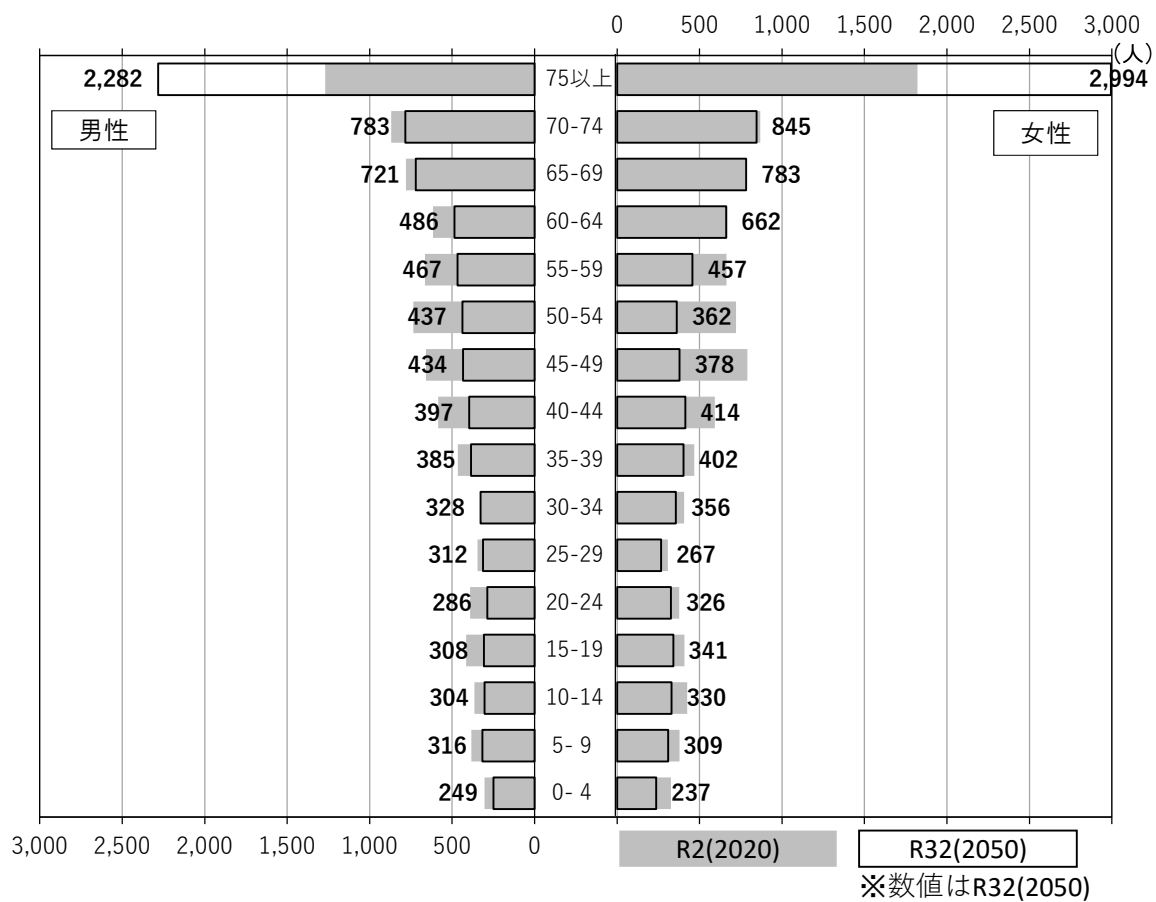


図 年齢5歳階級別将来推計人口

資料：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)

C0104 人口増減

本町の人口増減の推移をみると、自然増減は減少傾向となっており、平成12年（2000年）には出生数155人、死亡数117人で、出生数が死亡数を上回っていたが、令和2年（2020年）には出生数117人、死亡数210人で、死亡数が出生数を上回る状況となっている。

一方、社会増減は増加傾向となっており、令和2年（2020年）には転入者数1,787人、転出者数1,187人で、転入者数が転出者数を上回る状況となっている。近年の人口動向は、自然減少が進行する一方で、社会増加によって総人口が維持される構造となっている。

表 C0104_人口増減(集計表)

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
		人	人	人	人	人
行政区域	自然増減	38	▲ 33	▲ 3	▲ 49	▲ 93
	出生数	155	122	166	136	117
	死亡者数	117	155	169	185	210
	社会増減	347	305	242	195	600
	転入者数	1,311	1,368	1,246	1,397	1,787
	転出者数	964	1,063	1,004	1,202	1,187
	(その他増減)	▲ 2	▲ 6	5	▲ 14	▲ 29
	人口増減計	383	266	244	132	478
	自然増減	38	▲ 33	▲ 3	▲ 49	▲ 93
都市計画区域	出生数	155	122	166	136	117
	死亡者数	117	155	169	185	210
	社会増減	346	305	242	195	600
	転入者数	1,307	1,367	1,245	1,396	1,786
	転出者数	961	1,062	1,003	1,201	1,186
	(その他増減)	▲ 2	▲ 6	5	▲ 14	▲ 29
	人口増減計	382	266	244	132	478
	自然増減	34	▲ 30	▲ 2	▲ 45	▲ 86
	出生数	140	113	151	125	108
用途地域指定区域	死亡者数	106	143	153	170	194
	社会増減	313	282	220	179	553
	転入者数	1,184	1,263	1,130	1,281	1,647
	転出者数	871	981	910	1,102	1,094
	(その他増減)	▲ 2	▲ 6	5	▲ 13	▲ 27
	人口増減計	345	246	223	121	440

資料：長野県 毎月人口異動調査(市町村別異動状況)

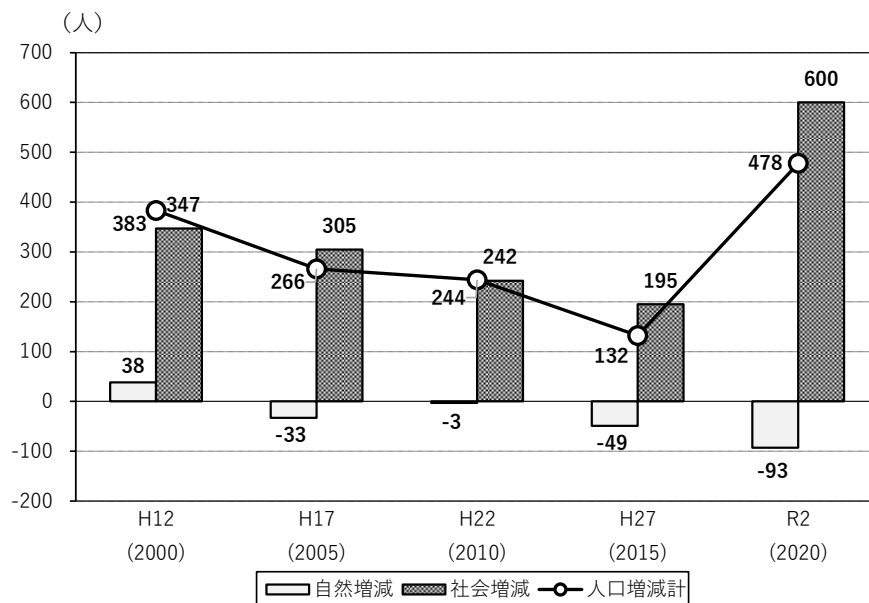


図 自然増減・社会増減の推移(行政区域)

資料：長野県 毎月人口異動調査(市町村別異動状況)

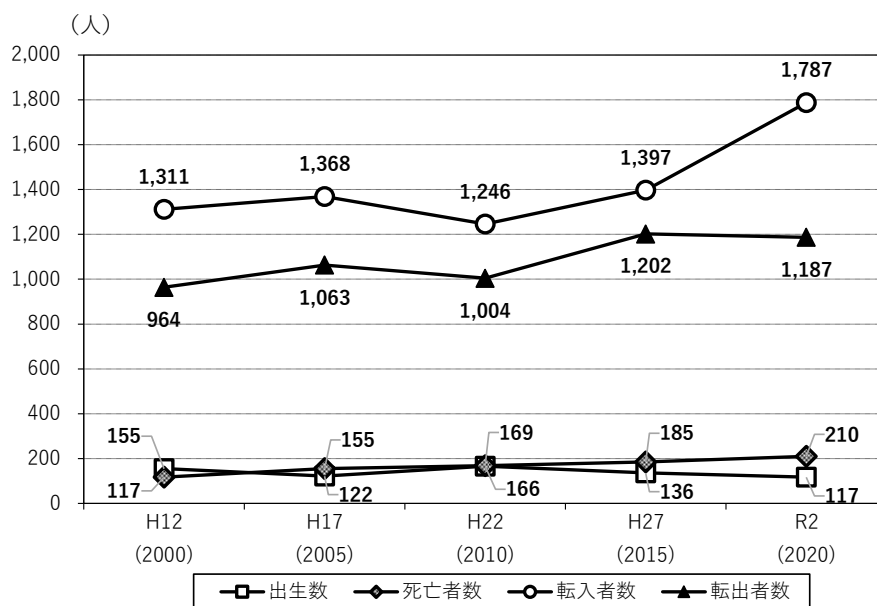


図 自然増減(出生数・死亡者数)・社会増減(転入者数・転出者数)の推移(行政区域)

資料：長野県 毎月人口異動調査(市町村別異動状況)

C0105 通勤・通学移動

本町の通勤・通学移動をみると、常住地による就業・通学者数は概ね横ばい傾向で、平成12年（2000年）の9,540人から令和2年（2020年）には9,127人となっている。また、従業・就学地による就業・通学者数は増加傾向となっており、平成12年（2000年）の11,755人から令和2年（2020年）には13,310人となっている。

流出・流入先を市町村別にみると、流出・流入ともに小諸市、佐久市、御代田町などの周辺自治体が上位となっており、広域的な通勤・通学圏が形成されている。

表 C0105_通勤・通学移動(集計表)

	常住地による就業・通学者数		流出		従業・就学地による就業・通学者数		流入		従／常就業・通学者比率
	人		人	%	人		人	%	
平成12年	9,540		1,959	20.5	11,755		4,174	35.5	123.2
平成17年	9,669		2,142	22.2	12,956		5,429	41.9	134.0
平成22年	10,174		2,356	23.2	13,584		5,652	41.6	133.5
平成27年	10,040		2,357	23.5	14,008		6,308	45.0	139.5
令和2年	9,127		2,303	25.2	13,310		6,442	48.4	145.8

	流出先														
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位			流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
	人	%		人	%		人	%		人	%		人	%	
平成12年	小 諸 市	505	5.3	佐 久 市	420	4.4	御 代 田 町	346	3.6	上 田 市	124	1.3	長 野 市	54	0.6
平成17年	小 諸 市	452	4.7	佐 久 市	449	4.6	御 代 田 町	312	3.2	上 田 市	192	2.0	長 野 市	60	0.6
平成22年	佐 久 市	480	4.7	小 諸 市	443	4.4	御 代 田 町	292	2.9	上 田 市	191	1.9	長 野 市	74	0.7
平成27年	佐 久 市	528	5.3	小 諸 市	411	4.1	御 代 田 町	296	2.9	上 田 市	213	2.1	長 野 市	75	0.7
令和2年	佐 久 市	557	6.1	小 諸 市	383	4.2	御 代 田 町	285	3.1	上 田 市	162	1.8	東 御 市	58	0.6

	流入先														
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位			流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
	人	%		人	%		人	%		人	%		人	%	
平成12年	御 代 田 町	1,051	8.9	小 諸 市	1,019	8.7	佐 久 市	722	6.1	上 田 市	149	1.3	東 部 町	112	1.0
平成17年	佐 久 市	1,302	10.0	御 代 田 町	1,282	9.9	小 諸 市	1,242	9.6	上 田 市	247	1.9	東 御 市	216	1.7
平成22年	佐 久 市	1,456	10.7	御 代 田 町	1,364	10.0	小 諸 市	1,280	9.4	上 田 市	373	2.7	東 御 市	247	1.8
平成27年	佐 久 市	1,638	11.7	御 代 田 町	1,521	10.9	小 諸 市	1,472	10.5	上 田 市	368	2.6	東 御 市	260	1.9
令和2年	佐 久 市	1,730	13.0	御 代 田 町	1,677	12.6	小 諸 市	1,346	10.1	上 田 市	363	2.7	東 御 市	230	1.7

資料：国勢調査

注1. 常住地による就業・通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業・通学者を言う。

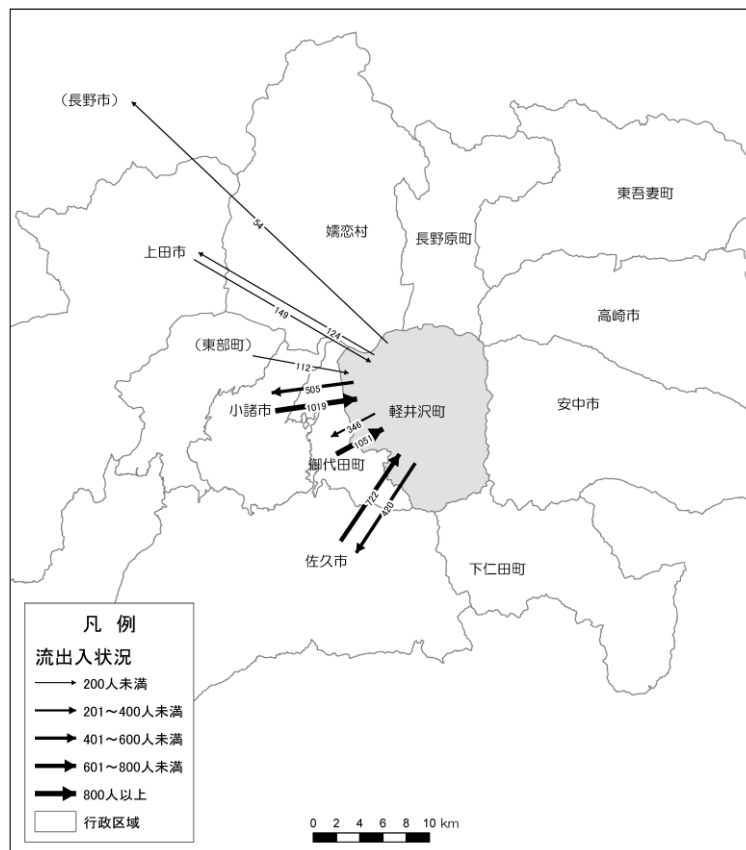
従業・通学地による就業・通学者数とは、当該都市に従業・通学する（昼間人口ベース）就業・通学者を言う。

注2. 流出率＝流出就業・通学者数／常住地による就業・通学者数×100

流入率＝流入就業・通学者数／従業・通学地による就業・通学者数×100

注3. （従／常）就業・通学者比率＝従業・通学地による就業・通学者数／常住地による就業・通学者数×100

▼ 平成 12 年 (2000 年)



▼ 令和 2 年 (2020 年)

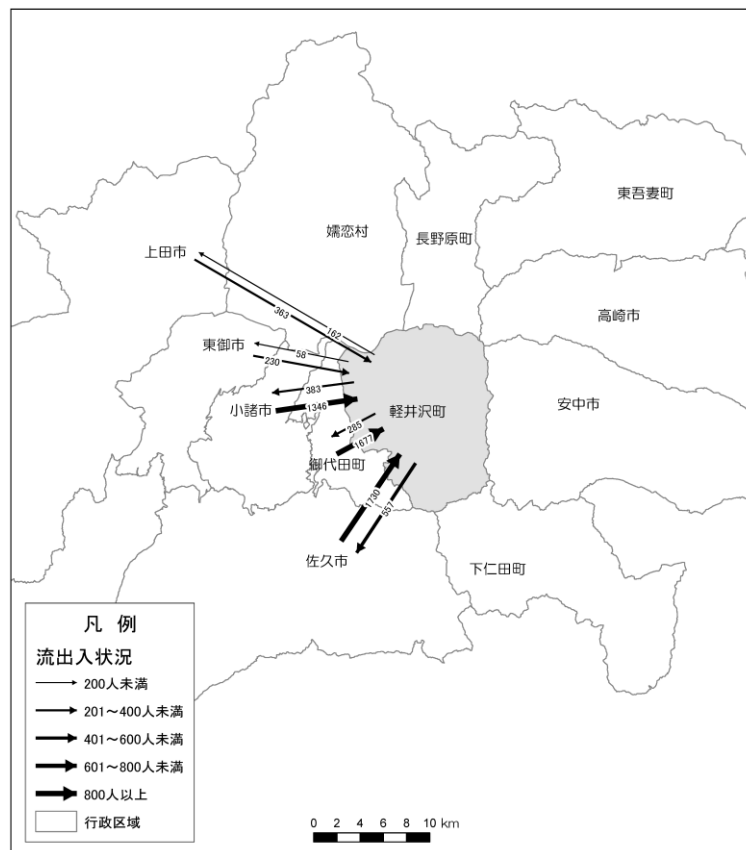


図 C0105_流出入状況図(就業者・通学者)

資料：国勢調査